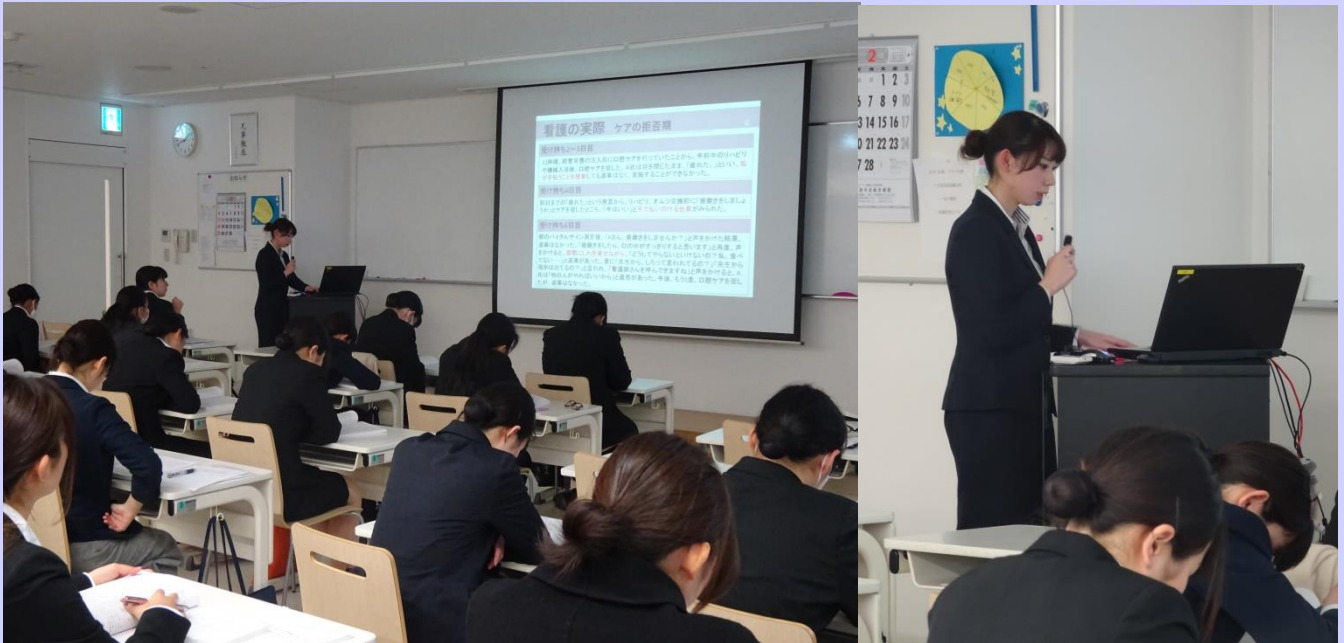


6期生 事例研究発表会



2018年2月23日（金）



学内にて3年生による「事例研究発表会」が開催されました。

事例研究とは、実習で受け持った患者さまの1事例を取り上げ、自らが行った看護を振り返って考察するものです。発表会では在校生・教員・実習施設の方々を前に全員が発表を行います。国家試験から5日。3年生にとってはこれが学生生活最後の総仕上げとなります。

拒否や諦めのある患者さまとの関わりや、転倒・誤嚥性肺炎の予防、認知機能が低下した患者さまへの指導方法といったものから、小児科・産科・在宅での看護まで、どの事例も学生がその患者さまを思い真剣に向き合った証とも言うべきもので、一つとして同じものはありません。発表を終えた3年生の表情は一様に晴れやかで、すべてをやり終えた充足感と解放感にあふれていました。後輩たちからも、「来年の自分のあるべき姿を見た」「看護問題の挙げ方や援助の考え方が勉強になった」「経験不足でまだ自分には全然できない。先輩方はいろいろな工夫をされていてすごい」などの感想が聞かれ、今後に繋がる学びもあったようです。

看護師になれば、1人の患者さまとじっくり向き合う機会は減ってしまうでしょう。だからこそ、実習で患者さまと向き合った日々のことをどうか忘れないでください。3年生、お疲れ様でした！！